

③ 会議開催記録（2012年1月-12月）

日時	場所	会議内容
2012/2/24	大阪	研究計画実施状況および今後の方針について
2012/7/8	名古屋	WG提案の二次調査についてと研究計画実施状況および今後の方針について

④ メーリングリストによる意見交換（メーリングリスト開設から2012年11月末時点）  
（481）回

⑤ WGの今後の活動方針・抱負など

学会発表は順調に進んでいるので、今後は論文文化をしていきたいと思っています。また二次調査研究を進めて解析を行って行きたいと考えています。新しい研究の提案がありましたら、どんどんこのWGに参加してください。いつでもどなたでも大歓迎致します。

5. 慢性骨髄性白血病（CML）【小児】

① WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者： 嶋田 博之	慶應義塾大学病院	小児科
谷澤 昭彦	福井大学医学部附属病院	小児科
村松 秀城	名古屋大学医学部附属病院	小児科
安井 昌博	大阪府立母子保健総合医療センター	血液・腫瘍科
石田 也寸志	愛媛県立中央病院	小児科

② 2012年12月末時点で承認された研究、及び業績一覧

5-2	「慢性骨髄性白血病に対する同種造血幹細胞移植の成績（CML成人共同研究）」 PI：村松秀城
学会発表：村松秀城 小児慢性骨髄性白血病に対する同種造血幹細胞移植の治療成績の解析 第34回日本造血細胞移植学会総会	
論文業績：未発表	

③ 会議開催記録（2012年1月-12月）

日時	場所	会議内容
2012/1/8	東京医科歯科大学	成人WGと小児WGの共同研究について

④ メーリングリストによる意見交換（メーリングリスト開設から2012年11月末時点）  
（122）回

⑤ WGの今後の活動方針・抱負など

「慢性骨髄性白血病に対する同種造血幹細胞移植の成績」を研究課題として、成人WGと合同で解析を行っていく。一元化登録事業データを用いることで幹細胞源ごとの治療成績を評価する。その中で、チロシンキナーゼ阻害薬の移植前投与による移植成績に与える影響を解析する。また、移植後再発後の治療内容を評価し、再発に対する治療戦略を検討する。

6. 慢性骨髄性白血病 (CML) 【成人】

① WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者：大橋 一輝	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
長村 登紀子	東京大学医科学研究所附属病院	セルプロセッシング・輸血部
川瀬 孝和	Fred Hutchinson CRC	
綿本 浩一	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院	血液・腫瘍内科
初見 菜穂子	済生会前橋病院	血液内科
東條 有伸	東京大学医科学研究所附属病院	造血細胞移植チーム
小林 真一	防衛医科大学校病院	血液内科
近藤 健	北海道大学病院	血液内科

② 2012年12月末時点で承認された研究、及び業績一覧

6-1	「慢性骨髄性白血病 (CML) の同種移植の幹細胞別の移植成績の比較」 PI: 大橋一輝
学会発表：第74回日本血液学会総会	
論文業績：	

③ 会議開催記録 (2012年1月-12月)

日時	場所	会議内容
2012/1/8	東京医科歯科大学 26階ファカルティ ラウンジ	小児WGと合同で会議開催 1. 幹細胞別移植成績の解析について 2. TRUMP データの内容 追加項目について
2012/5/11	東京大学医科学研究所輸血部	論文作成について 長村先生 長村文孝先生 東條先生と会議

④ メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から2012年11月末時点)  
( 0 ) 回

⑤ WGの今後の活動方針・抱負など

2013年1月13-14日でWGを小児WGと合同で開催予定

## 7. 骨髄異形成症候群 (MDS) 【小児】

### ① WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者：渡邊 健一郎	京都大学医学部附属病院	小児科
土居崎 小夜子	名古屋大学医学部附属病院	小児科
吉田 奈央	名古屋第一赤十字病院	小児医療センター血液腫瘍科
菊地 陽	帝京大学医学部附属病院	小児科
矢部 みはる	東海大学医学部附属病院	小児科・細胞移植科
三井 哲夫	山形大学医学部附属病院	小児科
加藤 元博	埼玉県立小児医療センター	血液・腫瘍科
小嶋 靖子	東邦大学医療センター大森病院	小児科学第一講座
工藤 寿子	地方独立行政法人 静岡県立病院機構 静岡県立こども病院	血液腫瘍科
長谷川 大一郎	兵庫県立こども病院	血液腫瘍科

### ② 2012年12月末時点で承認された研究、及び業績一覧

7-1	「治療関連による小児および若年者の骨髄異形成症候群 (MDS) / 急性骨髄性白血病 (AML) 症例に対する造血幹細胞移植治療の検討」 PI: 小嶋靖子
学会発表: 小嶋靖子他 第34回日本造血細胞移植学会(2012年2月24日-25日) 大阪国際会議場 論文業績:	
7-2	「若年性骨髄単球性白血病に対する同種造血細胞移植の成績」 PI: 吉田奈央
学会発表・論文業績:	
7-4	「小児骨髄異形成症候群に対する同種造血幹細胞移植において G-CSF の予後に与える影響」 PI: 長谷川大一郎
学会発表: 長谷川大一郎他 第73回日本血液学会学術集会 (2011年10月14日-16日) 名古屋国際会議場 論文業績:	
7-5	「小児一次性骨髄異形成症候群に対する至適移植法の開発に関する研究」 PI: 長谷川大一郎
学会発表: EBMT2013 に演題登録 論文業績:	

### ③ 会議開催記録 (2012年1月-12月)

日時	場所	会議内容

### ④ メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から2012年11月末時点) (230) 回

### ⑤ WG の今後の活動方針・抱負など

小児一次性骨髄異形成症候群移植症例の解析結果を発表し、至適移植法の開発の基盤となるデータを提示する。若年性骨髄単球生白血病移植症例の解析を行う。既に学会発表されたテーマについては論文化していく。
---------------------------------------------------------------------------------------------------

## 8. 骨髓異形成症候群 (MDS) 【成人】

### ① WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者：宮崎 泰司	長崎大学病院	血液内科（原研内科）
垣花 和彦	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
河野 彰夫	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院	血液・腫瘍内科
石川 隆之	神戸市立医療センター中央市民病院	免疫血液内科
玉置 広哉	兵庫医科大学病院	血液内科
加藤 淳	慶應義塾大学病院	血液内科
廣川 誠	秋田大学医学部附属病院	第三内科
田中 正嗣	公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター	血液内科
金森 平和	(独)神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター	血液内科
増岡 和宏	国家公務員共済組合連合会 三宿病院	血液内科
高木 伸介	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
増子 正義	新潟大学医歯学総合病院	高密度無菌治療部・第一内科
高見 昭良	金沢大学附属病院	輸血部・血液内科
小澤 幸泰	名古屋第一赤十字病院	血液内科
岡本 真一郎	慶應義塾大学病院	血液内科
衛藤 徹也	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院	血液内科
大西 康	東北大学病院	血液内科（輸血科）
中尾 眞二	金沢大学附属病院	血液内科
臼杵 憲祐	NTT 東日本関東病院	血液内科
芦田 隆司	近畿大学医学部附属病院	血液内科
太田 秀一	札幌北楡病院	血液内科
糸永 英弘	長崎大学病院	血液内科
石山 謙	東京都立大塚病院（東京都立駒込病院）	血液内科
小林 寿美子	日本大学医学部内科学系血液膠原病内科分野	血液膠原病内科
石井 一慶	関西医科大学附属枚方病院	第一内科
池田 宇次	静岡県立静岡がんセンター	血液・幹細胞移植科
町田 真一郎	東海大学医学部付属病院	血液腫瘍内科
青木 一成	神戸市立医療センター中央市民病院	免疫血液内科
鈴木 達也	名古屋第二赤十字病院	血液・腫瘍内科
青木 淳	がん・感染症センター都立駒込病院	血液内科
康 秀男	大阪市立大学大学院医学研究科	血液腫瘍制御学

### ② 2012年12月末時点で承認された研究、及び業績一覧

8-1	「同種造血幹細胞移植が行われた50歳以上のMDS患者における移植成績の検討」PI：青木一成
学会発表：青木一成 他。 第54回 米国血液学会（2012年12月8日-11日） ジョージアワールドコングレスセンター アトランタ	
論文業績：未発表	
8-2	「高齢者MDSに対する前処置を減弱した同種造血幹細胞移植に関する決断分析(国際共同研究)」PI：宮崎泰司
学会発表・論文業績：	

③ 会議開催記録（2012年1月-12月）

日時	場所	会議内容
2012/2/23	大阪国際会議場	進行中のプロジェクト確認、新たな研究計画提案など

④ メーリングリストによる意見交換（メーリングリスト開設から2012年11月末時点）  
（118）回

⑤ WGの今後の活動方針・抱負など

2013年3月の日本造血細胞移植学会時に会議を予定。そのさいに現在進行中の研究に関して論文化の話し合いを行う。また、複数の提案が予定されており、それらの確認・調整を行う予定。

9. 悪性リンパ腫（ML）【小児】

① WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者：小林良二	札幌北楡病院	小児科
三井哲夫	山形大学医学部附属病院	小児科
藤田直人	広島赤十字・原爆病院	小児科
岩崎史記	神奈川県立こども医療センター	血液・再生医療科
鈴宮淳司	島根大学医学部附属病院	血液内科
深野玲司	国立病院機構九州がんセンター	小児科

② 2012年12月末時点で承認された研究、及び業績一覧

9-2	「小児における稀なリンパ腫の造血幹細胞移植症例の検討」 PI：小林良二
学会発表：Ryoji Kobayashi et al. Stem Cell Transplantation for Pediatric Patients with Non-Anaplastic Peripheral T-Cell Lymphoma in Japan. (oral presentation) Fourth International Symposium on Childhood, Adolescent and Young Adult Non-Hodgkin's Lymphoma 2012.11.1, New York City	
論文業績：Kobayashi R, Fujita N, Mitsui T, Iwasaki F, Suzumiya J, Kuroda H, Nishimura R, Sasahara Y, Takeshita Y, Kato K, Okumura H, Sakamaki H, Yabe H, Kawa K, Kato K, Suzuki R. Stem Cell Transplantation for Pediatric Patients with Non-Anaplastic Peripheral T-Cell Lymphoma in Japan. Br J Hematol 2012; 159: 88-93	
9-4	「小児未分化大細胞型リンパ腫に対する造血細胞移植成績」 PI：深野玲司
学会発表・論文業績：	
9-5	「小児リンパ芽球性リンパ腫に対する造血細胞移植成績」 PI：三井哲夫
学会発表・論文業績：	
9-6	「小児成熟B細胞性腫瘍に対する造血細胞移植成績」 PI：藤田直人
学会発表：Naoto Fujita et al. A comparison of autologous and allogeneic stem cell transplantation for pediatric mature B-cell Non-Hodgkin lymphoma. (plenary poster) Fourth International Symposium on Childhood, Adolescent and Young Adult Non-Hodgkin's Lymphoma 2012.11.2, New York City	

③ 会議開催記録（2012年1月-12月）

日時	場所	会議内容
2012/2/25	グランキューブ大阪	今後の研究の進め方について

④ メーリングリストによる意見交換（メーリングリスト開設から2012年11月末時点）  
（107）回

⑤ WGの今後の活動方針・抱負など

小児リンパ腫は多くない疾患であるが、本年度は国際学会での発表2件と、英文論文1編を発表することができた。本WGはもともと弱小なWGであるが、今後もますます他のWGに負けないように新規研究を進めていきたいと思う。

10. 悪性リンパ腫（ML）【成人】

① WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者： 鈴宮 淳司	島根大学医学部附属病院	腫瘍センター
金 成元	国立がん研究センター 中央病院	血液腫瘍科・造血幹細胞移植科
尾関 和貴	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院	血液・腫瘍内科
近藤 英生	岡山大学病院	血液・腫瘍内科
伊豆津 宏二	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
鈴木 律朗	名古屋大学医学部	造血細胞移植情報管理・生物統計学
加藤 春美	愛知県がんセンター研究所	遺伝子医療研究部
小川 啓恭	兵庫医科大学病院	血液内科
加藤 光次	九州大学病院	血液腫瘍内科（第一内科）
賀古 真一	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
水田 秀一	藤田保健衛生大学病院	血液内科・化学療法科
森島 聡子	藤田保健衛生大学病院	血液内科・化学療法科
名和 由一郎	愛媛県立中央病院がん治療センター	血液腫瘍内科
横山 寿行	(独)国立病院機構 仙台医療センター	血液内科
田地 浩史	愛知県がんセンター中央病院	血液・細胞療法部
矢野 真吾	東京慈恵会医科大学附属病院	腫瘍・血液内科
田野崎 隆二	国立がん研究センター 中央病院	臨床検査科
吾郷 浩厚	島根県立中央病院	血液腫瘍科
森 毅彦	慶應義塾大学病院	血液内科
酒井 リカ	神奈川県立がんセンター	腫瘍内科
石田 文宏	信州大学医学部	保健学科検査技術科学専攻 病院・病態検査学
池田 宇次	静岡県立静岡がんセンター	血液・幹細胞移植科
朝倉 義崇	日本赤十字社 沖縄赤十字病院	血液内科
鈴木 達也	名古屋第二赤十字病院	血液・腫瘍内科

千原 大	愛知県がんセンター研究所	疫学予防部
多田 耕平	国立がん研究センター中央病院	血液腫瘍科・造血幹細胞移植科
坂本 佳奈	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科

② 2012年12月末時点で承認された研究、及び業績一覧

10-1	「濾胞性リンパ腫の造血幹細胞移植の後方視的研究」 PI：伊豆津宏二
<p>学会発表：Izutsu K, Suzuki R, Kako S, Sakai R, Mori T, Yano S, Kato J, Fukuda T, Taniguchi T, Takanashi M, Morishima Y, Tanaka J, and Suzumiya J. Poor Performance Status, Chemorefractory Disease At Transplantation, and Umbilical Cord Blood As Donor Source Were Adverse Prognostic Factors for Overall Survival After Allogeneic Stem Cell Transplantation for Follicular Lymphoma: Retrospective Study of the Japan Society of Hematopoietic Stem Cell Transplantation (JSHCT) Lymphoma Working Group. 53rd American Society of Hematology Annual Meeting and Exposition (Poster session, abstract 3093) (平成 23 年 12 月 10-13 日) San Diego Convention Center, San Diego, California, USA</p> <p>伊豆津宏二、鈴木律朗、賀古真一、酒井リカ、森毅彦、矢野真吾、谷口修一、福田隆浩、加藤淳、高梨美乃子、森島泰雄、田中淳司、鈴宮淳司 濾胞性リンパ腫に対する同種造血幹細胞移植の予後因子解析：JSHCT 成人悪性リンパ腫 WG からの報告 第 34 回日本造血細胞移植学会総会 (平成 24 年 2 月 24 日-2 月 25 日)、大阪国際会議場 演題応募済み</p>	
論文業績：	
10-2	「悪性リンパ腫自家移植後再発に対する同種移植」 PI：吾郷浩厚
<p>学会発表：吾郷浩厚、加藤 光次、名和 由一郎、加藤 春美、鈴宮 淳司、福田 隆浩、谷口修一、小川 啓添、衛藤 徹也、鈴木 律朗、長村 登紀子、森島 泰雄、坂巻 壽 日本造血細胞移植学会 Adult Lymphoma WG</p> <p>悪性リンパ腫自家移植後再発に対する同種移植の有効性の検討－Adult Lymphoma WG による一元化データ解析－ 第 34 回日本造血細胞移植学会総会 (平成 24 年 2 月 24 日-2 月 25 日)、大阪国際会議場</p>	
論文業績：	
10-3	「節外性 NK/T 細胞リンパ腫、鼻型 (ENKL) の移植成績」 PI：鈴木律朗
<p>学会発表：Suzuki R., Kako S., Hyo R., Izutsu K., Ito T., Shinagawa K., Endo T., Sakamaki H. and Suzumiya J.: Hematopoietic stem cell transplantation for extranodal NK/T-cell lymphoma, nasal-type: The Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation (JSHCT) Lymphoma Working Party. The 11th International Congress on Malignant Lymphoma (Oral presentation, Abstract #41) June 15, 2011, Lugano, Switzerland</p> <p>Suzuki R., Kako S., Hyo R., Izutsu K., Ito T., Shinagawa K., Endo T., Sakamaki H. and Suzumiya J.: Hematopoietic stem cell transplant for extranodal NK/T-cell lymphoma, nasal type: JSHCT Lymphoma WG. 第 73 回日本血液学会総会 (口演). 2011 年 10 月 14 日 (金)、名古屋国際会議場</p> <p>Suzuki R., Kako S., Hyo R., Izutsu K., Ito T., Shinagawa K., Endo T., Sakamaki H. and Suzumiya J.: Comparison of autologous and allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for extranodal NK/T-cell lymphoma, nasal-type: Analysis of The Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation (JSHCT) Lymphoma Working Group. The 53rd Annual Meeting of American Society of Hematology (Oral presentation, Abstract #503) (平成 23 年 12 月 10-13 日) San Diego Convention Center, San Diego, California, USA</p>	
論文業績：	
10-4	「リンパ腫の組織型別・病期別移植成績」 PI：伊豆津宏二
<p>学会発表：Izutsu K, Suzuki R, Fukuda T, Ueda Y, Taji H, Sakamaki H. Hematopoietic stem cell transplantation for lymphoma: Demographic data of 10500 transplants from the Transplant Registry Unified Management Program (TRUMP) of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation (JSHCT). 11th International Conference on</p>	

Malignant Lymphoma, Palazzo dei Congressi, Lugano, Switzerland (平成 23 年 6 月 15 日-18 日) 誌上発表

伊豆津宏二、鈴木律朗、福田隆浩、植田豊、田地浩史、坂巻壽、鈴木淳司 成人悪性リンパ腫症例に対する造血幹細胞移植: JSHCT 成人リンパ腫 WG 第 73 回 日本血液学会学術集会 (平成 23 年 10 月 14 日) 名古屋国際会議場

論文業績:

10-5 「ホジキンリンパ腫に対する造血幹細胞移植の後方視的検討」 PI: 賀古真一

学会発表: 賀古真一、伊豆津宏二、加藤光次、金成元、森毅彦、福田隆浩、小林直樹、田地浩史、橋本尚子、坂巻壽、森島泰雄、長村登紀子、鈴木律朗、鈴木淳司 ホジキンリンパ腫に対する造血幹細胞移植の後方視的検討: 日本造血細胞移植学会成人悪性リンパ腫ワーキンググループからの報告 第 34 回日本造血細胞移植学会総会 (平成 24 年 2 月 24 日-2 月 25 日)、大阪国際会議場

論文業績:

10-6 「移植前 B 型肝炎、C 型肝炎ウイルスの感染状態が悪性リンパ腫の移植成績および有害事象に及ぼす影響」 PI: 加藤春美

学会発表・論文業績:

10-7 「高齢者びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の造血幹細胞移植の後方視的研究」 PI: 千原大

学会発表・論文業績:

10-8 「縦隔(胸腺)大細胞型 B 細胞性リンパ腫に対する造血幹細胞移植の後方視的研究」 PI: 近藤英生

学会発表・論文業績:

10-9 「中枢神経原発リンパ腫に対する造血幹細胞移植の後方視的研究」 PI: 近藤英生

学会発表・論文業績:

### ③ 会議開催記録 (2012 年 1 月-12 月)

日時・場所	会議内容
2012/1/8 東京医科歯科大学	報告事項 1) 退会メンバー 2) 平成 23 年度に学会発表された研究議題 1) 研究遂行に関する意見・要望 ① 二次調査を必要とする臨床研究について ② WG 発足前のデータで行った B 細胞性リンパ腫に対する造血幹細胞移植の治療成績のまとめ 2) 新規テーマを含む今後の活動 ① Blastic NK-cell lymphoma に対する同種移植 (とくに RIST) について。有意義な報告とするための二次調査の必要性。 ② 高齢者に対する大量化学療法・自家移植の治療成績について。石田先生・鈴木・吾郷先生を中心に検討を予定。 ③ 代表的な大量化学療法レジメンごとの自家移植の治療成績の比較。
2012/7/7 名古屋第一赤十字病院	報告事項 1) 新メンバー、退会メンバーの紹介 2) STAT の配布に関して 3) 研究の進捗状況は、現在すべて論文化している最中であること 議題 I TRUMP データの追加項目 1. レジメン数に関すること 添付の TRUMP 画面「移植までの化学療法レジメン数」が分かりにくいということで、『レジメン数』が分かるように以下の内容を記載してもらう。「当初から計画しているものであれば 2 つ以上のプロトコール、放射線、大量化学療法込みの治療であっても 1 レジメンと数える。再発時治療や治療経過中に病勢進行、治療抵抗性などにより治療方針を変えた場合、同治療を別レジメンと数える。具体的には "R-CHOP 療法" のコース数



	<p>ではなく、「R-CHOP療法6コース」など一連の治療を1レジメンと数え、この移植の前処置開始以前に行われたレジメン数を記載してください。」とする。</p> <p>2. TRUMP への新たな項目追加に関すること</p> <p>II 新規テーマを含む今後の活動</p> <p>1. 国立がん研究センターの金先生から以下のご提案</p> <p>① WG 発足前に申請した B 細胞リンパ腫に対する自家・同種移植に関する研究については、金先生と多田先生から論文の Draft が提出された。</p> <p>② 大韓血液学会リンパ腫 WP より提案の T-cell lymphoma + NK-cell lymphoma に対する自家移植後再発患者を対象とした同種移植の後方視的臨床研究への参加</p> <p>③ 稀な T-cell lymphoma に関する研究の提案</p> <p>④ 一元化データの解析に対する中央診断が必要性に関すること</p> <p>2. その他の新規テーマ</p> <p>① 加藤春美先生より肝炎との関連の研究テーマが提案</p> <p>② 鈴宮より PTCL の稀少腫瘍のデータのまとめの研究が提案</p>
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

④ メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2012 年 11 月末時点)  
(568) 回

⑤ WG の今後の活動方針・抱負など

今年度は新しい委員の先生方、それも大変若い将来性豊かな先生方にも加わり、27名の委員になりました。各委員は成人リンパ腫の移植医療にさまざまな形で関わっていますが、リンパ腫治療に造血幹細胞治療を加え、治療成績の向上を図っていききたいという思いは同じです。今後はこのWGを母体に前向き試験を計画したいと考えています。その際、前向き試験を実施するために、TRUMP データをうまく活用していききたいと考えています。とくに、若い先生方の業績、キャリアアップにつながるような仕事をしていききたいと考えています。患者さんや TRUMP データを提出していただいている先生方の期待に添えるように WG の委員一同力を合わせてより一層、明るく、楽しくやっていきます。関係の WG の先生方もよろしくご協力ください。

1 1. 再生不良性貧血 【小児】

① WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 : 小島 勢二	名古屋大学医学部附属病院	小児科
菊地 陽	帝京大学医学部附属病院	小児科
工藤 寿子	静岡県立病院機構 静岡県立こども病院	血液腫瘍科
矢部 普正	東海大学医学部附属病院	小児科・細胞移植科
小林 良二	札幌北楡病院	小児科
吉田 奈央	名古屋第一赤十字病院	小児医療センター血液腫瘍科
渡邊 健一郎	京都大学医学部附属病院	小児科
村松 秀城	名古屋大学医学部附属病院	小児科

② 2012 年 12 月末時点で承認された研究、及び業績一覧

11-1	「フルダラビン導入が非血縁骨髄移植の成績に与える影響」 PI: 矢部普正
学会発表・論文業績:	

11-2	「小児再生不良性貧血における HLA 一致血縁者間骨髄移植と免疫抑制療法の比較」 PI：吉田奈央
<p>学会発表：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 吉田奈央他 第 73 回日本血液学会学術集会（2011.10.14-16）、名古屋国際会議場 First line treatment for aplastic anemia in children: transplantation vs. immunosuppressive therapy.</li> <li>2. 吉田奈央他 第 53 回米国血液学会（ASH）（2011.12.10-13）、サンディエゴ（米国） Outcome in children with severe aplastic anemia receiving bone marrow transplantation from an HLA-matched family donor or intensive immunosuppressive therapy as first-line treatment.</li> <li>3. 吉田奈央他 6th International symposium on MDS and Bone Marrow Failure Syndromes in Childhood(2012.11.7-9), Prague(Czech Republic) Outcome in children with severe aplastic anemia receiving bone marrow transplantation from an HLA-matched family donor or intensive immunosuppressive therapy as first-line treatment.</li> </ol> <p>論文業績：</p>	
11-3	「小児再生不良性貧血におけるドナー選択-HLA 一致血縁ドナー、不一致血縁ドナー、非血縁ドナーの比較」 PI：小島勢二
<p>学会発表：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 村松秀城他 第 73 回日本血液学会学術集会（2011.10.14-16）、名古屋国際会議場 Allogeneic stem cell transplantation from HLA-mismatched family donors in children with AA.</li> <li>2. 村松秀城他 第 53 回米国血液学会（ASH）（2011.12.10-13）、サンディエゴ（米国） Allogeneic bone marrow transplantation from HLA mismatched family donors in children with aplastic anemia.</li> </ol> <p>論文業績：</p>	
11-4	「小児の HLA 一致同胞間移植における治療成績」 PI：菊地陽
<p>学会発表：</p> <p>論文業績：Kikuchi A et al, Long-term outcome of childhood aplastic anemia patients who underwent allogeneic hematopoietic SCT from an HLA-matched sibling donor in Japan Bone Marrow Transplantation(in press)</p>	
11-7	「小児再生不良性貧血における骨髄移植後ドナータイプ造血不全の解析」 PI：吉田奈央
<p>学会発表</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 吉田奈央他 6th International symposium on MDS and Bone Marrow Failure Syndromes in Childhood(2012.11.7-9),Prague(Czech Republic) Donor type bone marrow failure after stem cell transplantation in children with aplastic anemia: A report from the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation</li> <li>2. 吉田奈央他 第 54 回米国血液学会（ASH）（2011.12.8-11）、アトランタ（米国） Donor-Type Aplasia After Bone Marrow Transplantation in Children with Aplastic Anemia: A Nationwide Retrospective Study</li> </ol> <p>論文業績：</p>	

③ 会議開催記録 (2012年1月-12月)

日時	場所	会議内容
2012/6/2	名古屋	各メンバーから解析テーマの希望聴取

④ メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から2012年11月末時点)  
( 0 ) 回

⑤ WGの今後の活動方針・抱負など

<p>1) 解析済み項目の論文化: 11-3、11-4については米国血液学会に口演で採択されており、ぜひ、早期に論文化をすすめたい。</p> <p>2) APBMT諸国と共同で先天性骨髄不全症候群の移植成績や再生不良性貧血に対するハプロ移植の解析を進めたい。</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

12. 再生不良性貧血 【成人】

① WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者：山崎 宏人	金沢大学附属病院	血液内科
古川 達雄	新潟大学医歯学総合病院	高密度無菌治療部・第一内科
森 毅彦	慶應義塾大学病院	血液内科
山本 久史	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
廣川 誠	秋田大学医学部附属病院	第三内科
賀古 真一	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
鈴木 律朗	名古屋大学	造血細胞移植情報管理・生物統計学
宮村 耕一	名古屋第一赤十字病院	血液内科
竹中 克斗	九州大学病院	血液腫瘍内科 (第一内科)
大西 康	東北大学病院	血液免疫科
衛藤 徹也	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院	血液内科
中尾 眞二	金沢大学附属病院	血液内科
康 秀男	大阪市立大学大学院医学研究科	血液腫瘍制御学

② 2012年12月末時点で承認された研究、及び業績一覧

「再生不良性貧血に対する同種造血幹細胞移植における患者 HLA の影響」	PI: 山崎 宏人
学会発表・論文業績: 未発表	
「再生不良性貧血に対する同種造血幹細胞移植の前処置の現状の評価」	PI: 森 毅彦
学会発表・論文業績: 未発表	

③ 会議開催記録（2011年1月-12月）

日時	場所	会議内容
2012/1/8	東京医科歯科大学	2011年12月に申請した2件の研究課題についての意見交換。
2012/7/8	名古屋第一赤十字病院	生着不全に関する研究希望が重複しているので今後調整していく。

④ メーリングリストによる意見交換（メーリングリスト開設から2012年11月末時点）  
（71）回

⑤ WGの今後の活動方針・抱負など

承認されている研究の進捗が予定より遅れているので、これらをできるだけ早く進め、その結果を踏まえて、新たな他の研究テーマに取り組んでいきたい。

13. 成人T細胞白血病リンパ腫（ATL）

① WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者：宇都宮 典	公益財団法人慈愛会 今村病院分院	血液内科
加藤 光次	九州大学病院	血液腫瘍内科（第一内科）
菱澤 方勝	京都大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科
田野崎 隆二	国立がん研究センター 中央病院	臨床検査科
高塚 祥芝	公益財団法人慈愛会 今村病院分院	血液内科
石田 高司	名古屋市立大学病院	血液・膠原病内科
福島 卓也	琉球大学医学部保健学科	病態検査学講座血液免疫検査学分野
増田 昌人	琉球大学医学部附属病院	がんセンター
中瀬 浩一	愛媛県立中央病院がん治療センター	血液腫瘍内科
赤塚 美樹	藤田保健衛生大学病院医学部	血液内科
和氣 敦	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院分院	血液内科
鈴宮 淳司	島根大学医学部附属病院	腫瘍センター
東梅 友美	ミシガン大学がんセンター	血液・腫瘍内科 BMTプログラム
名和 由一郎	愛媛県立中央病院がん治療センター	血液腫瘍内科
鵜池 直邦	（独）国立病院機構 九州がんセンター	血液内科
崔 日承	独）国立病院機構 九州がんセンター	血液内科
藤原 弘	愛媛大学医学部附属病院	第一内科
中野 伸亮	公益財団法人慈愛会今村病院分院	血液内科
町田 真一郎	東海大学医学部附属病院	血液腫瘍内科
朝倉 義崇	日本赤十字社 沖縄赤十字病院	血液内科
多田 耕平	国立がん研究センター中央病院	血液腫瘍科・造血幹細胞移植科
澤山 靖	長崎大学病院	血液内科

② 2012年12月末時点で承認された研究、及び業績一覧

13-1	「ATL患者に対する同種骨髄破壊的移植と非破壊的移植の比較検討」 PI：石田高司
<p>学会発表：Ishida T, Hishizawa M, Kato K, Tanosaki R, Eto T, Miyazaki Y, Hidaka M, Sakamaki H, Morishima Y, Suzuki R, Utsunomiya A. Clinical impact of reduced intensity stem-cell transplantation for ATL. 第73回日本血液学会学術集会, 2011年、名古屋国際会議場</p> <p>論文業績：Ishida T, Hishizawa M, Kato K, Tanosaki R, Fukuda T, Taniguchi S, Eto T, Takatsuka Y, Miyazaki Y, Moriuchi Y, Hidaka M, Akashi K, Uike N, Sakamaki H, Morishima Y, Kato K, Suzuki R, Nishiyama T, Utsunomiya A. Allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for adult T-cell leukemia-lymphoma with special emphasis on preconditioning regimen: a nationwide retrospective study. Blood 2012; 120: 1734-41.</p>	
13-2	「成人T細胞性白血病／リンパ腫に対する臍帯血移植の後方視的検討」 PI：加藤光次
<p>学会発表：Kato K, Cho I, Wake A, Uike N, Taniguchi S, Moriuchi Y, Miyazaki Y, Hino M, Akashi K, Sakamaki H, Kato K, Suzuki R, Yamanaka T, Utsunomiya A. Cord blood transplantation for adult T-cell leukemia/lymphoma: The JSHCT WG study. 第73回日本血液学会学術集会、2012年、京都国際会館</p> <p>論文業績：執筆中</p>	
13-3	「ATL患者に対する同種骨髄破壊的移植と非破壊的移植の比較検討、GVHDの意義について」 PI：石田高司
<p>学会発表：検討中</p> <p>論文業績：準備中 (Blood)</p>	

③ 会議開催記録 (2012年1月-12月)

日時	場所	会議内容
2012/1/8 (第4回)	東京医科歯科大学	<p>ATL患者に対する同種骨髄破壊的移植と非破壊的移植の比較検討についてすでに学会発表は終了していた。学会時に指摘された前処置の強度と年齢、寛解状態、一般状態などとの相互作用の関連では有意なものは存在しないことが確認され、早急に論文化することが合意された。</p> <p>ATLにおける臍帯血移植の成績について報告がされた。単変量解析による予後良好な因子として完全寛解例、ABO血液型の minor mismatch、GVHD 予防に対する MTX 使用などがあげられた。さらに解析を進めて学会発表を行う。新たな研究テーマを考える。</p>
2012/7/8 (第5回)	名古屋第一赤十字病院	<p>新入会参加者の自己紹介（藤原先生、町田先生）を行った。</p> <p>骨髄破壊的移植と非破壊的移植の比較についての論文が受理されたが、さらに GVHD の意義についての追加解析を行うことが提案され、石田先生が担当することになった。</p> <p>臍帯血移植においては、治療関連死が多いことが特徴であることが確認されたが、さらに詳細な解析が必要との意見で一致した。</p> <p>成果は、日本血液学会と適切な国際学会での発表を行うことで合意した。</p> <p>同種移植におけるリスクスコアの有用性について検討し、リスクモデルの作成について提案がなされた。</p>

④ メーリングリストによる意見交換（メーリングリスト開設から2012年11月末時点）  
（566）回

⑤ WGの今後の活動方針・抱負など

今年度のATL-WGの活動は、打ち合わせ会2回開催と論文1編、学会発表1演題であり、十分とはいえなかった。ATLは造血器腫瘍の中では少ない疾患であるが、化学療法の予後は不良で、造血細胞移植療法に期待が寄せられている。また、世界中でATLの同種造血幹細胞移植を数多く施行しているのは日本のみであり、日本からの情報発信は非常に重要な意義を有している。今後は、グループ内での情報交換や積極的な議論を行い、新たな研究テーマを見出し、ATL-WGの活性化を図りたい。

14. 多発性骨髄腫

① WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者：角南 一貴	(独) 国立病院機構 岡山医療センター	血液内科
岡本 真一郎	慶應義塾大学病院	血液内科
赤塚 美樹	藤田保健衛生大学病院医学部	血液内科
稲本 賢弘	Fred Hutchinson CRC	
大橋 一輝	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
伊豆津 宏二	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
谷口 享子	兵庫医科大学病院	血液内科
寺倉 精太郎	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
辻 正徳	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
前田 猛	京都大学医学部附属病院	外来化学療法部
宮本 敏浩	九州大学病院	血液腫瘍内科(第一内科)
高松 博幸	金沢大学医薬保健研究域医学系細胞移植学	血液内科
石井 一慶	関西医科大学附属枚方病院	第一内科
藤原 弘	愛媛大学医学部附属病院	第一内科
池田 宇次	静岡県立静岡がんセンター	血液・幹細胞移植科
鈴木 達也	名古屋第二赤十字病院	血液・腫瘍内科

② 2012年12月末時点で承認された研究、及び業績一覧

14-2	「造血幹細胞移植を施行した多発性骨髄腫での予後因子解析」	PI：高松 博幸
学会発表：未発表		
論文業績：未発表		

③ 会議開催記録（2012年1月-12月）

日時	場所	会議内容

④ メーリングリストによる意見交換（メーリングリスト開設から2012年11月末時点）  
（ 5 ）回

⑤ WGの今後の活動方針・抱負など

一元管理委員会で承認された研究14-2を遂行し、2013年度にデータを公表、論文投稿予定である。TRUMPの入力事項の見直しを行いたいと考えている。この活動をきっかけに造血幹細胞移植分野における多発性骨髄腫の臨床研究を活性化したいと考えている。

15. 固形腫瘍

① WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者：井上 雅美	大阪府立母子保健総合医療センター	血液・腫瘍科
岩崎 史記	神奈川県立こども医療センター	血液・再生医療科
松野 良介	昭和大学藤が丘病院	小児科
山本 将平	昭和大学藤が丘病院	小児科
高橋 義行	名古屋大学医学部附属病院	小児科
小川 淳	新潟県立がんセンター新潟病院	小児科
松本 公一	名古屋第一赤十字病院	小児医療センター血液腫瘍科
藤崎 弘之	大阪市立総合医療センター	小児血液腫瘍科
清水 崇史	東海大学医学部附属病院	小児科・細胞移植科
渡邊 健一郎	京都大学医学部附属病院	小児科
小林 良二	札幌北楡病院	小児科

② 2012年12月末時点で承認された研究、及び業績一覧

15-1	「中枢神経腫瘍に対する造血細胞移植の成績」 PI：岩崎史記
学会発表・論文業績：	
15-2	「造血幹細胞移植を併用する大量化学療法を施行したユーイング肉腫ファミリー腫瘍の治療成績」 PI：小川淳
学会発表：第53回日本小児血液・がん学会学術集会（平成23年11月25日—27日）、ベトナム文化ホール・前橋商工会議所	
論文業績：	
15-3	「小児肝芽腫に対する大量化学療法の有用性の検討」 PI：山本将平
学会発表：第53回日本小児血液・がん学会学術集会（平成23年11月25日—27日）、ベトナム文化ホール・前橋商工会議所	
論文業績：	
15-4	「神経芽腫に対する同種臍帯血移植の検討」 PI：高橋義行
学会発表：EBMT 2012 (April, 1), Paris, France, Unrelated cord blood transplantation for children with high-risk or relapsed neuroblastoma	
論文業績：	
15-5	「神経芽腫に対する造血幹細胞移植の成績」 PI：井上雅美

学会発表・論文業績：	
15-6	「網膜芽細胞腫に対する造血幹細胞移植の検討」 PI：小林良二
学会発表：第53回日本小児血液・がん学会学術集会（平成23年11月25日—27日）、ベイシア文化ホール・前橋商工会議所	
論文業績：	
15-7	「横紋筋肉腫の造血幹細胞移植症例の検討」 PI：小林良二
学会発表：第53回日本小児血液・がん学会学術集会（平成23年11月25日—27日）、ベイシア文化ホール・前橋商工会議所	
論文業績：	
15-8	「ウイルス腫瘍および類縁疾患に対する造血幹細胞移植の検討」 PI：小林良二
学会発表：第53回日本小児血液・がん学会学術集会（平成23年11月25日—27日）、ベイシア文化ホール・前橋商工会議所	
論文業績：	
15-9	「移植後再発小児神経芽腫に対する造血幹細胞移植の有効性の検討」 PI：松本公一
学会発表・論文業績：	

### ③ 会議開催記録（2012年1月-12月）

日時	場所	会議内容

### ④ メーリングリストによる意見交換（メーリングリスト開設から2012年11月末時点） （332）回

### ⑤ WGの今後の活動方針・抱負など

2011年度内に、課題のほとんどが学会発表された。すなわち、小児における主要固形腫瘍についての学会発表は終わっている。そのような事情から2012年度は活動実績が乏しい。論文文化については、二次調査が必要かも知れない。

まだ実績を上げていない課題については、再検討を要する。

また、本WGは小児科メンバーで構成されている。成人固形腫瘍について検討する必要は？責任者の交代も含めて、固形腫瘍WGの今後の方向性についてメンバー間で議論する。

## 16. 遺伝性疾患（免疫不全・代謝異常・造血不全など）

### ① WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者：矢部 普正	東海大学医学部附属病院	小児科・細胞移植科
矢部 みはる	東海大学医学部附属病院	小児科・細胞移植科
後藤 裕明	横浜市立大学附属病院	小児科
森尾 友宏	東京医科歯科大学医学部附属病院	小児科
鈴木 信寛	札幌医科大学附属病院	小児科



中沢 洋三	信州大学医学部附属病院	小児科
足立 壮一	京都大学医学研究科	人間健康科学系専攻
加藤 俊一	東海大学医学部附属病院	小児科・細胞移植科
村松 秀城	名古屋大学医学部附属病院	小児科
堀越 泰雄	静岡県立病院機構 静岡県立こども病院	血液腫瘍科
加藤 剛二	名古屋第一赤十字病院	小児医療センター血液腫瘍科
吉田 奈央	名古屋第一赤十字病院	小児医療センター血液腫瘍科
高倉 広充	東海大学医学部	小児科
梅田 雄嗣	京都大学大学院医学研究科	発達小児科学

## ② 2012年12月末時点で承認された研究、及び業績一覧

16-3	「Diamond-Blackfan 貧血に対する同種造血細胞移植の成績」 PI：矢部普正
学会発表：矢部普正他 第34回日本造血細胞移植学会総会（平成24年2月24日-2月25日）大阪国際会議場 「Diamond-Blackfan 貧血に対する同種造血細胞移植」	
論文業績：	
16-4	「Fanconi 貧血に対する同種造血細胞移植の成績」 PI：矢部みはる
学会発表：矢部みはる他 第34回日本造血細胞移植学会総会（平成24年2月24日-2月25日）大阪国際会議場 「Fanconi 貧血に対する同種造血細胞移植の成績」 矢部みはる他 24th Annual Fanconi Anemia Research Fund Scientific Symposium(2012年9月27日～9月30日)Grand Hyatt Denver 「Hematopoietic stem cell transplantation for Fanconi anemia patients in Japan: An analysis of the registry data」	
論文業績：執筆予定	
16-9	「副腎白質ジストロフィーに対する同種造血細胞移植」 PI：加藤剛二
学会発表：加藤剛二他、第35回日本造血細胞移植学会総会（平成25年3月7日-3月9日 ANAクラウンシンプラザ金沢）「国内における副腎白質ジストロフィーに対する同種造血細胞移植成績」	
論文業績：	

## ③ 会議開催記録（2012年1月-12月）

日時	場所	会議内容

## ④ メーリングリストによる意見交換（メーリングリスト開設から2012年11月末時点） （76）回

## ⑤ WGの今後の活動方針・抱負など

<p>ダイヤモンドブラックファン貧血については2013年EBMTに演題申し込み済み、発表後にファンコニ貧血と合わせて論文執筆開始予定です。代謝異常については二次調査の研究計画が進行中であり、免疫不全については、免疫不全の班会議が立ち上がったため、国際共同研究を視野に入れた解析を計画中です。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 17. HLA と移植成績

### ① WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者： 神田 善伸	自治医科大学附属 さいたま医療センター	血液科
池亀 和博	兵庫医科大学病院	血液内科
諫田 淳也	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
森島 泰雄	愛知県がんセンター研究所	疫学・予防部
渡邊 修大	社会保険中京病院	小児科
川瀬 孝和	Fred Hutchinson Cancer Research Center	Program in Immunology
一戸 辰夫	佐賀大学医学部附属病院（2012年12月まで所属）	血液・腫瘍内科
森島 聡子	藤田保健衛生大学	血液内科
増子 正義	新潟大学医歯学総合病院	高密度無菌治療部
前田 嘉信	岡山大学病院	血液・腫瘍内科
横山 寿行	独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター	血液内科
辻 正徳	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
田中 淳司	北海道大学病院	血液内科
宇都宮 與	公益財団法人慈愛会今村病院分院	血液内科
松野 良介	昭和大学藤が丘病院	小児科
小林 武	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
高橋 義行	名古屋大学医学部附属病院	小児科
鬼塚 真仁	東海大学医学部附属病院	血液腫瘍内科
鍬塚 八千代	Medical College of Wisconsin	Center for International Blood and Marrow Transplant Research
村田 誠	名古屋大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科
玉置 広哉	兵庫医科大学病院	血液内科
矢部 普正	東海大学医学部附属病院	再生医療科学
加藤 俊一	東海大学医学部附属病院	小児科・細胞移植科
金 成元	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
高塚 祥芝	公益財団法人慈愛会今村病院分院	血液内科
和氣 敦	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院分院	血液内科
小川 淳	新潟県立がんセンター新潟病院	小児科
熱田 由子	名古屋大学医学部	造血細胞移植情報管理・生物統計学
西田 徹也	名古屋大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科
屋部 登志雄	東京都赤十字血液センター	製剤部製剤三課製剤一係長
高梨 美乃子	日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター	製剤部長
星野 匠臣	群馬大学医学部附属病院	血液内科
芦田 隆司	近畿大学医学部附属病院	血液内科

藤 重夫	国立がん研究センター中央病院	血液腫瘍科・造血幹細胞移植科
坂本 佳奈	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科

② 2012年12月末時点で承認された研究、及び業績一覧

17-1	「GVHDが生じるとGVL効果があるのは事実か？：血縁、非血縁ドナーからの造血幹細胞移植におけるHLA座適合度別解析」 PI：森島泰雄
解析中	
17-2	「アジア・太平洋地区におけるHLAを基盤にした人種別同種移植免疫反応の比較解析」 PI：森島泰雄
海外施設データ収集中	
17-3	「非血縁者間骨髄移植における年代別のアリル不適合の影響」 PI：神田善伸
学会発表：神田善伸他 HLAアリル不適合がHLA6抗原適合非血縁者間骨髄移植成績に与える影響の経時変化 第74回日本血液学会総会 プレナリーセッション 京都 2012年10月	
論文業績：投稿中	
17-4	「非血縁者間臍帯血移植(UCBT)におけるHLA不一致度と感染症発症頻度」 PI：加藤俊一
解析中	
17-5	「非血縁者間骨髄移植(UBMT)におけるHLA抗原(血清型)不一致移植成績」 PI：加藤俊一
解析中	
17-6	「Reduced intensity conditioningを用いた非血縁者間骨髄移植におけるHLA不一致の影響」 PI：横山寿行
学会発表：横山寿行 他 第35回日本造血細胞移植学会(平成25年3月7日-3月9日)、石川県立音楽堂	
17-7	「HLA適合血縁者間移植とHLA適合非血縁者間移植におけるHLAハプロタイプ、HLA型に基づく移植免疫反応の解析」 PI：森島聡子
解析中	
17-8	「KIRリガンド不適合が移植成績に及ぼす影響の検討」 PI：田中淳司
学会発表：田中淳司他 KIRリガンド不適合が移植成績に及ぼす影響の検討 平成24年度厚生労働省免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業「移植細胞源を異にする非血縁者間造血細胞の組織適合性に基づく成績向上と移植選択アルゴリズムの確立に関する研究」班(森島班)平成24年7月8日(日)	
17-9	「造血幹細胞移植におけるHLA型・HLAハプロタイプ型と感染症発症頻度」 PI：川瀬孝和
解析中	
17-10	「複数回造血細胞移植実施時におけるHLA適合性の検討」 PI：前田嘉信
解析中	
17-11	「T細胞除去を用いないHLA不一致親子間移植においてレシピエントとドナーとの血縁関係が移植成績に与える影響の検討」 PI：一戸辰夫
学会発表：Tatsuo Ichinohe, et al. Impact of parental donor type on outcomes after HLA-matched and HLA-mismatched T-cell-replete hematopoietic cell transplantation in patients with leukemia: a retrospective cohort study. 54th Annual Meeting of the American Society of Hematology (December 8-11, 2012), Georgia World Congress Center, Atlanta, GA, USA.	
論文業績：執筆中	

17-12	「非血縁者間臍帯血移植における HLA 不適合度と移植成績」 PI：熱田由子
<p>学会発表：Yoshiko Atsuta, et al. 38th Annual Meeting of the European Group for Blood and Marrow Transplantation, 1-4 April 2012, Geneva, Switzerland</p> <p>Yoshiko Atsuta, et al. The 74th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology, 19-21 October 2012, Kyoto, Japan</p> <p>論文業績：投稿中</p>	
17-13	「非血縁者間臍帯血移植における GVH 方向 HLA 不適合あるいは HVG 方向 HLA 不適合が移植成績に及ぼす影響」 PI：諫田淳也
<p>学会発表：諫田淳也 他 第 74 回日本血液学会学術集会（平成 24 年 10 月 19 日-10 月 21 日） 国立京都国際会館</p> <p>論文業績：Kanda J, Atsuta Y, Wake A, Ichinohe T, Takanashi M, Morishima Y, Taniguchi S, Takahashi S, Ogawa H, Ohashi K, Ohno Y, Aotsuka N, Onishi Y, Kato K, Nagamura-Inoue T, Kanda Y; HLA Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. Impact of the Direction of HLA Mismatch on Transplantation Outcomes in Single Unrelated Cord Blood Transplantation. Biol Blood Marrow Transplant. 2012 Oct 3. [Epub ahead of print]</p>	
17-14	「非血縁者間骨髄移植における年代別の高リスクアレル不適合の影響」 PI：神田善伸
解析中	
17-15	「第一寛解期急性白血病に対する同種移植における、ドナー選択に関する臨床決断分析—GVH 方向 HLA 一抗原不適合血縁者と HLA8/8 アレル適合非血縁者の比較」 PI：諫田淳也
<p>学会発表：諫田淳也 他 第 35 回日本造血細胞移植学会（平成 25 年 3 月 7 日-3 月 9 日） 石川県立音楽堂</p> <p>Junya Kanda, et al. 2013 BMT Tandem Meetings (13-17 Feb 2013), Salt Lake City, UT, USA</p>	

### ③ 会議開催記録（2012 年 1 月-12 月）

日時	場所	会議内容
2012/1/8	東京医科歯科大学	定例会議(特に TRUMP の HLA データについて)
2012/10/19	京都国際会議場	研究 17-4 に関する会議

### ④ メーリングリストによる意見交換（メーリングリスト開設から 2012 年 11 月末時点） (659) 回

### ⑤ WG の今後の活動方針・抱負など

現在、HLA-WG では 15 件の研究が進行中である。H24 年は 2 回の会議の開催に加えてメーリングリスト上でも活発な討論が行われ、メーリングリストの発言件数は既に 659 件に達している。H23 年には学会、論文発表には至らなかったが、HLA データのクリーニングスクリプトが完成したことにより、H24 年は多数の学会発表に加えて 3 本の論文投稿(うち 1 本は既に accept)に至っている。データクリーニング用の R および Stata のスクリプトは造血細胞移植学会のホームページで公開しており、全 WG で利用することが出来る。これらのツールを活用して、今後はさらに多くの研究が発展していくことが期待できる。